



個人投資家説明会

(2022年6月)

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)

代表取締役社長 秋沢 英海

本日の説明内容

- ◆ 自己紹介
- ◆ ウィン・パートナーズについて
- ◆ 事業の特徴
- ◆ 事業に対する考え方
- ◆ 取扱製品
- ◆ 外部環境
- ◆ 成長戦略
- ◆ 業績概要
- ◆ 株主還元

自己紹介

自己紹介



あきざわ ひでうみ
秋沢 英海 (61歳)

- 1960年12月 高知県室戸市生まれ
学生時代は剣道に打ち込む (剣道四段)
- 1983年 3月 京都産業大学卒業
- 同年 4月 西本産業(株)入社
(現 キヤノンライフケアソリューションズ(株))
- 1992年 9月 (株)タクミコンサーンへ営業部長として入社
(現 (株)ウイン・インターナショナル)
- 1993年 2月 (株)ウイン・インターナショナルに社名変更
- 1994年 5月 代表取締役社長に就任
- 2002年 9月 株式を店頭登録
- 2013年 4月 ウイン・パートナーズ(株)を設立
代表取締役社長に就任
- 2014年 9月 東証一部上場
- 2022年 4月 東証プライム市場移行

ウイン・パートナーズについて

会社概要

- 証券コード : 3183 (東証プライム市場)
- 本社 : 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン21階
- 資本金 : 5億5千万円
- 事業内容 : 医療機器販売等 (連結ベース)
- 代表者及び役員構成 : 代表取締役社長 秋沢 英海
他、取締役 8名 (内、社外取締役 4名)
内、監査等委員である取締役 3名
- 連結子会社 : (株)ウイン・インターナショナル、テスコ(株)、(株)エムシーアイ
※3社は100%子会社
- 従業員数 : 連結548名 (2022年3月31日現在)
- 発行済株式数 : 30,503,310株 (自己株式2,083,573株を含む)

企業理念と企業ビジョン

企業理念

すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフを提供し、豊かな社会の実現に貢献します。

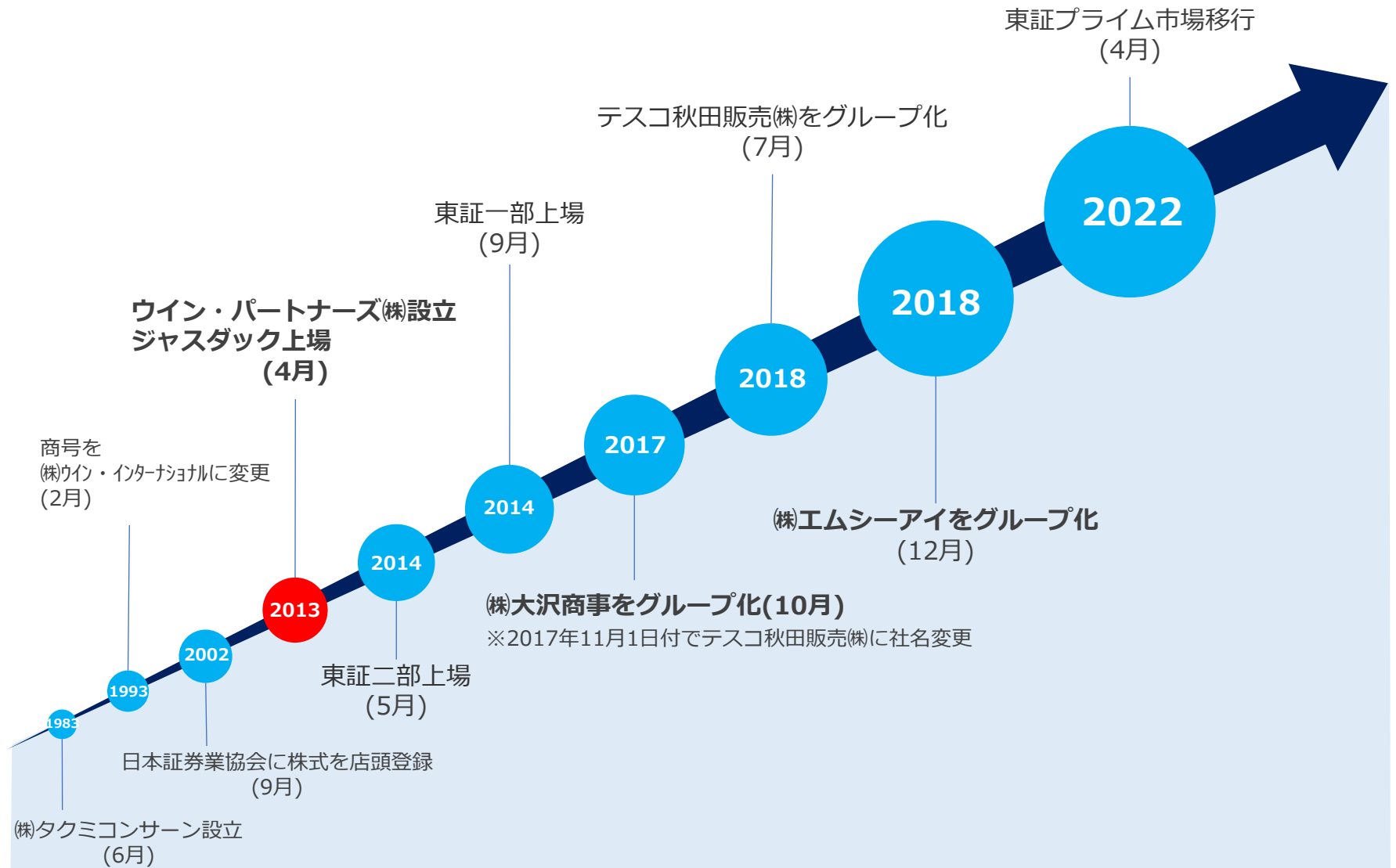
すべての人が健康で充実した日々を送れるよう、健康寿命の伸長に貢献することが、私たちの使命です。

企業ビジョン

新しいニーズを創造し、次世代医療関連ビジネスのリーディングカンパニーを目指します。

医療技術や情報通信技術の進歩に伴い、既存の医療サービスやビジネスモデルにとらわれることなく、既存、新規顧客の収益改善を実現し、シェアを拡大します。また、企業理念に賛同する企業をグループに迎え入れ、持続的な成長を目指すとともに業界再編を牽引し、医療業界の効率化に貢献します。

グループの歴史



事業の特徴

独立系医療機器商社



取扱製品の特徴

◆ 為替リスクが低い

– 外国製品の仕入れは円建てで日本法人から

◆ 在庫リスクが低い

– 取扱製品の多くがメーカーからの預託品

◆ 「保険償還価格」改定の影響

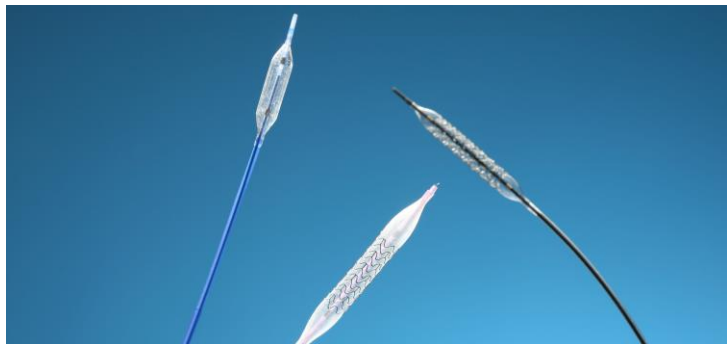
– 取扱製品の多くで、2年に一度価格が改定される

キーワードは「低侵襲」

検査や治療の際に生じる、痛みや出血などの
身体への負担がより少ない

(代表例)

- カテーテル血管内治療

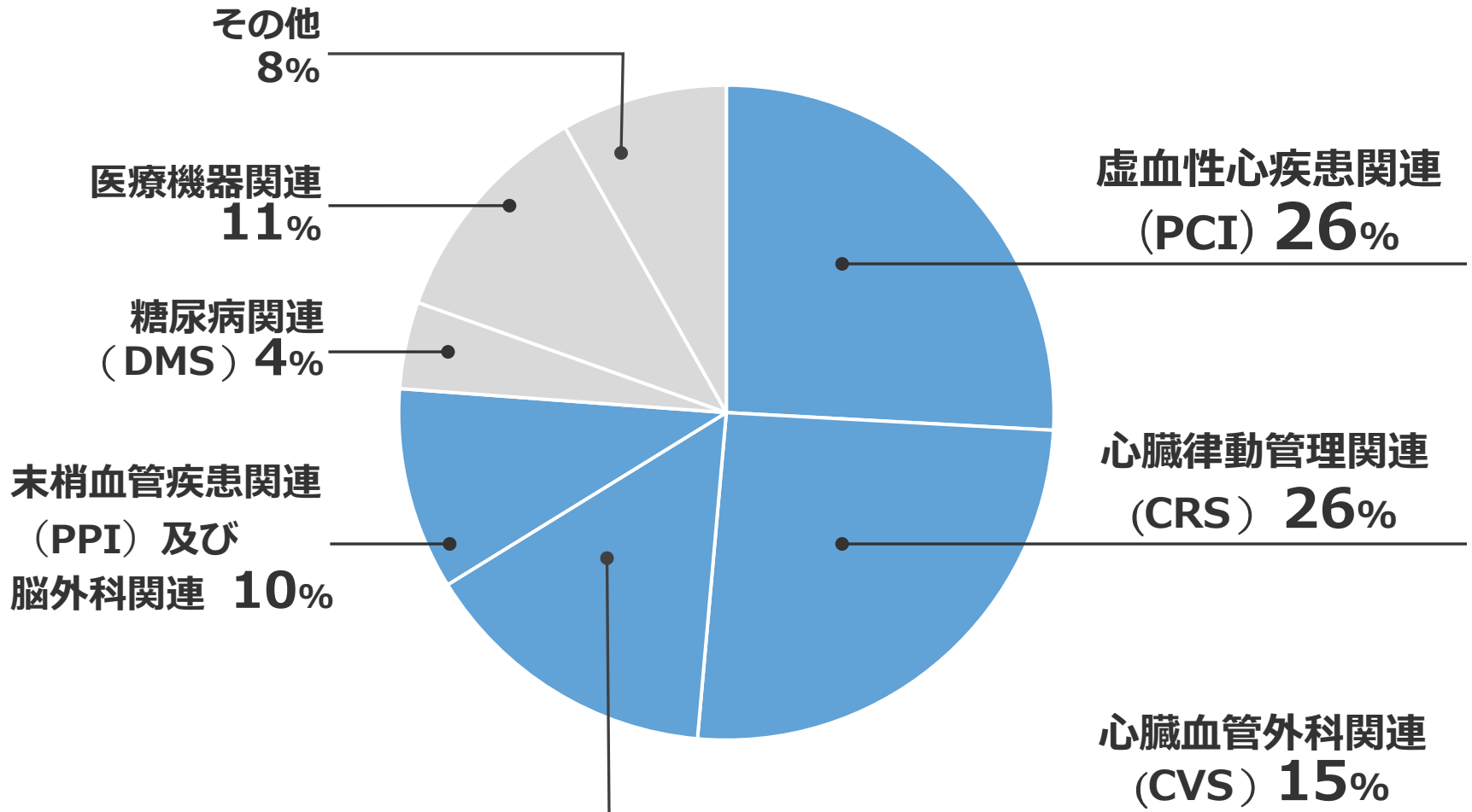


- 内視鏡手術



売上構成

(2022年3月期)



事業に対する考え方

顧客の成長が当社の成長

医療は公共性が高く、
社会インフラとして非常に重要

良い医療を提供する顧客の成長

||

良質の医療インフラ拡大



当社の成長

当社の役割

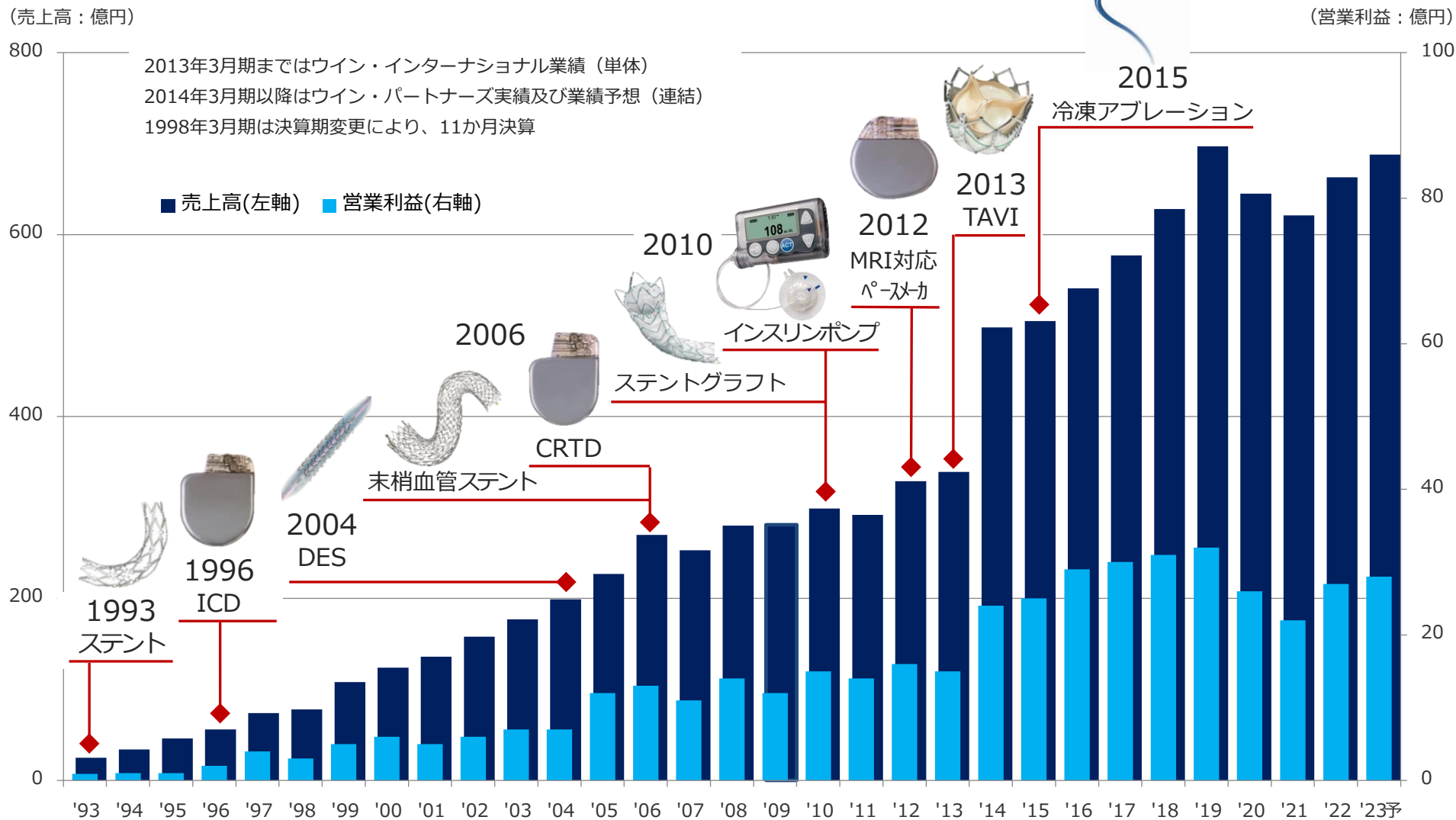
安全な医療への貢献と 顧客の成長をサポート

- ◆ 医療機器の安全・確実なデリバリー
- ◆ 適正な在庫管理
- ◆ 医療機器の適正な使用をサポート
- ◆ 集患やコスト削減の提案

取扱製品

低侵襲医療とともに成長

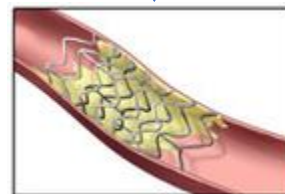
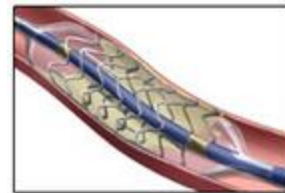
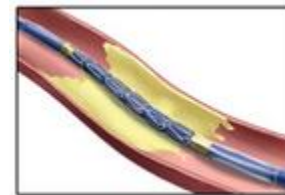
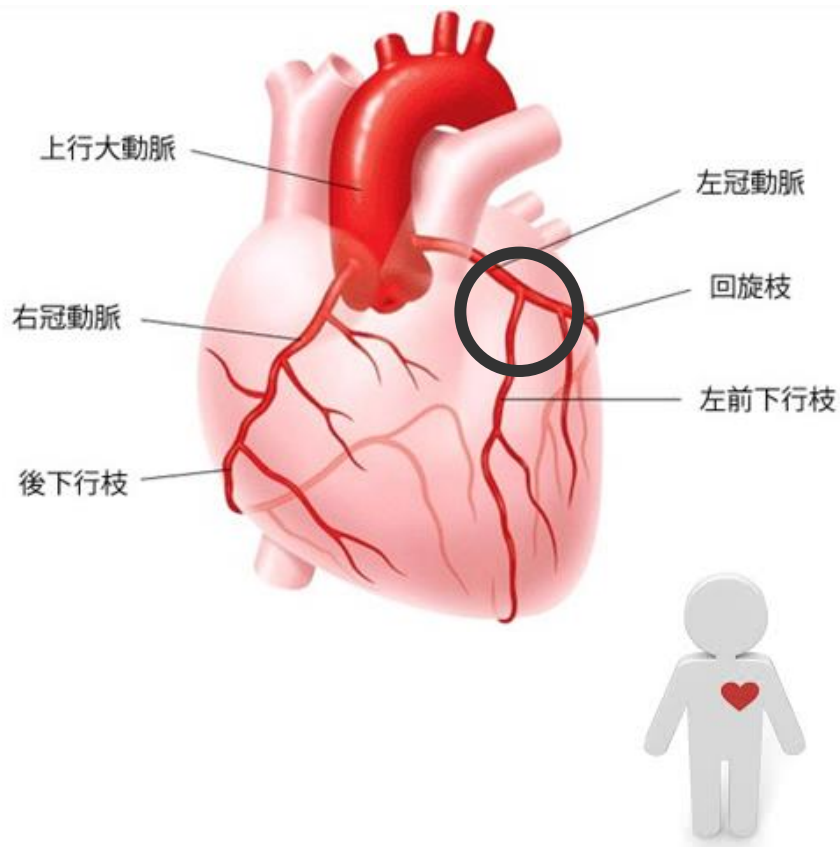
売上高、営業利益の推移



虚血性心疾患関連 (PCI)

心筋梗塞・狭心症を治療する医療機器

薬剤溶出型ステント (DES)



表面に塗布された薬剤が
再狭窄を防止

心臓律動管理関連 (CRS)

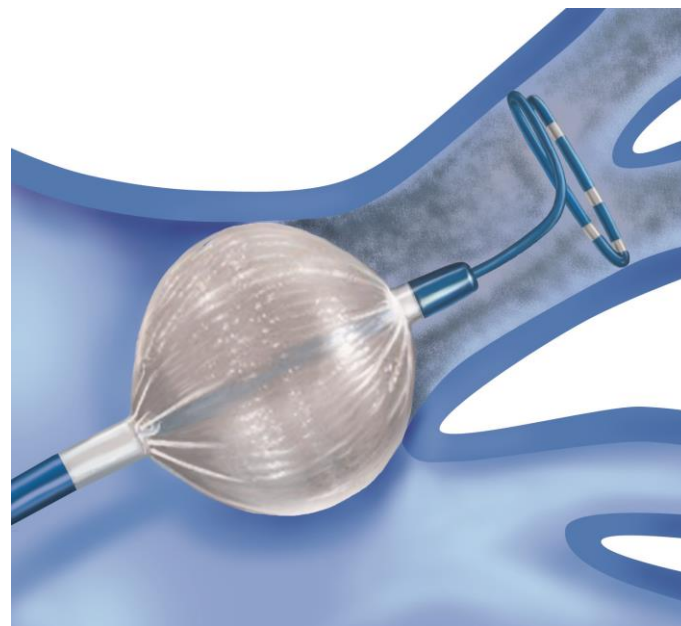
不整脈を治療する医療機器

ペースメーカー



体内に植え込んで心臓に
電気刺激を送る

冷凍アブレーションカテーテル

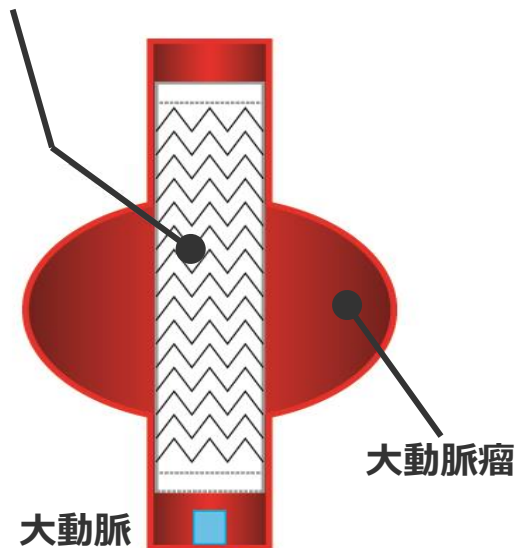


不整脈を引き起こす組織を冷凍す
ることによって心房細動を治療

心臓血管外科関連 (CVS)

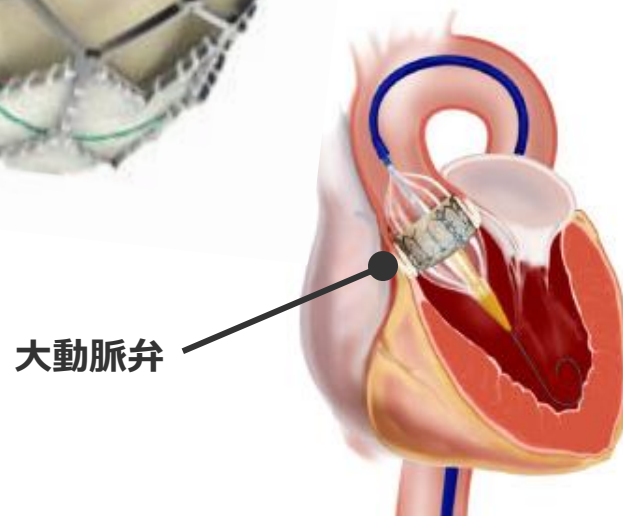
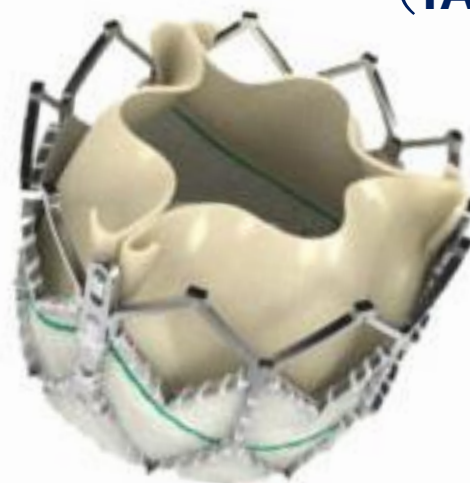
大動脈瘤・弁膜症等を治療する医療機器

ステントグラフト



ステントグラフトで大動脈瘤への血流を遮断

経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) 用生体弁



カテーテルで生体弁を大動脈弁の位置に留置

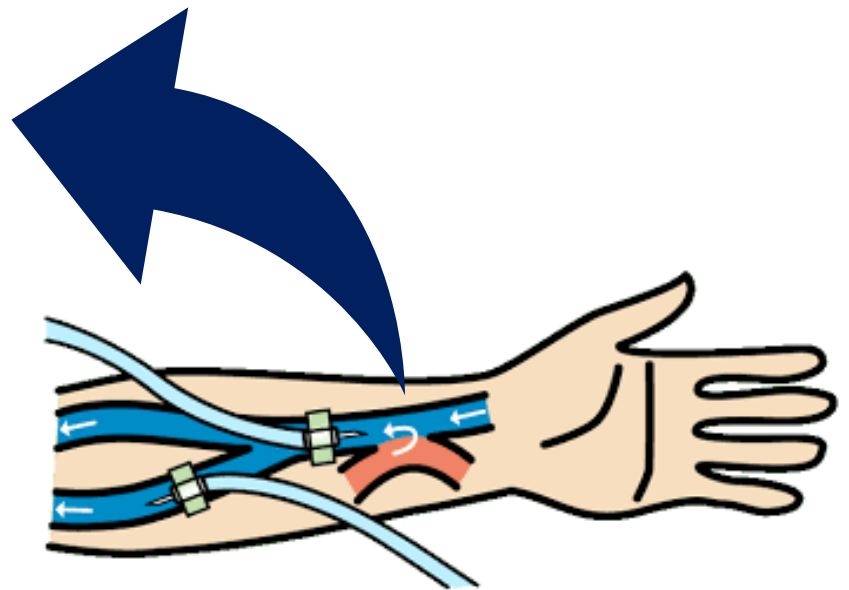
末梢血管疾患関連 (PPI)

心臓以外の血管疾患を治療する医療機器

PTAバルーンカテーテル

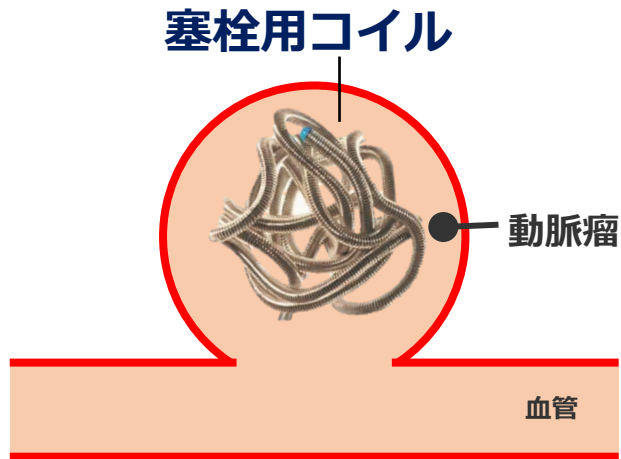


人工透析の影響で狭くなった
シャントの治療

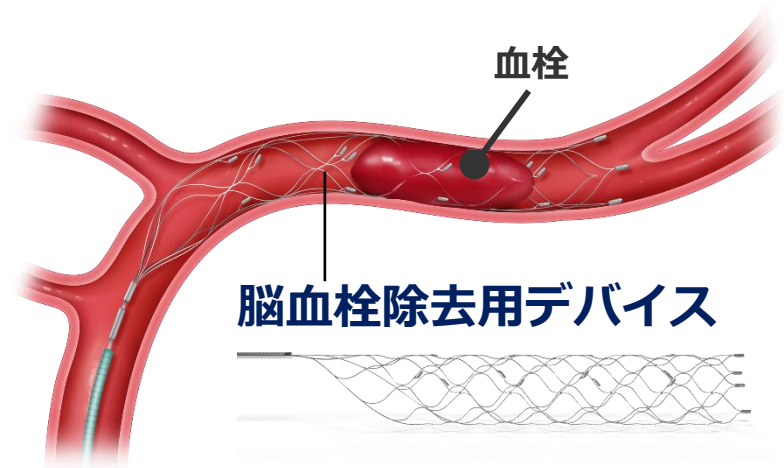


脳外科関連

脳の血管を血管内から治療する医療機器



脳の動脈にできた瘤（血管のこぶ）に金属製のコイルを詰め破裂するのを防ぐ



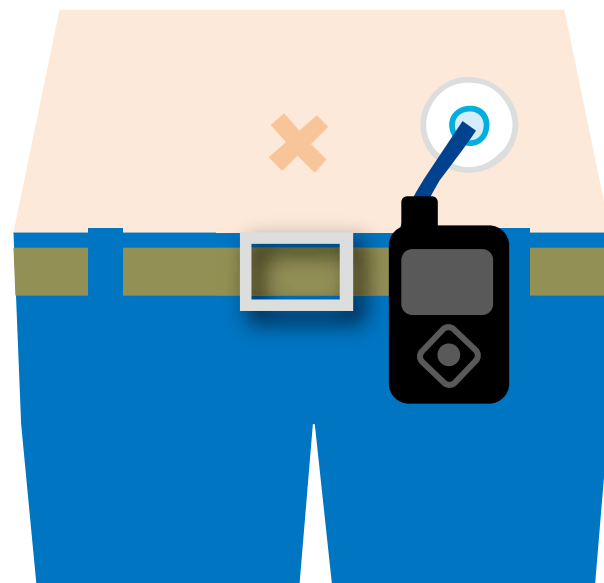
脳の血管内にできた血栓をカテーテルの先端に付いたステントで絡めとり、血流を再開させる



糖尿病関連 (DMS)

糖尿病を治療する医療機器

インスリンポンプ

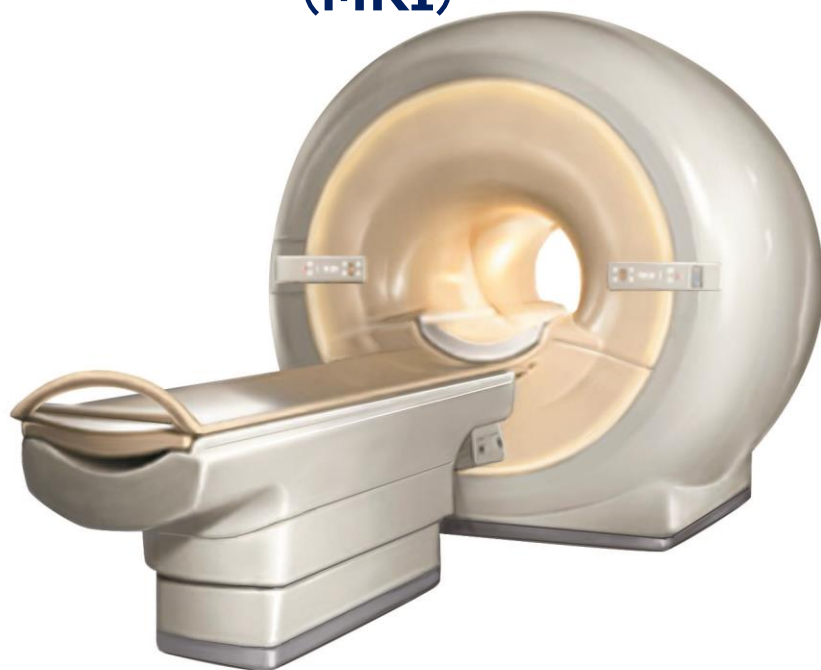


ポンプからインスリンを持続的に
体内に注入

医療機器関連

診断・検査用機器など

磁気共鳴画像診断装置
(MRI)



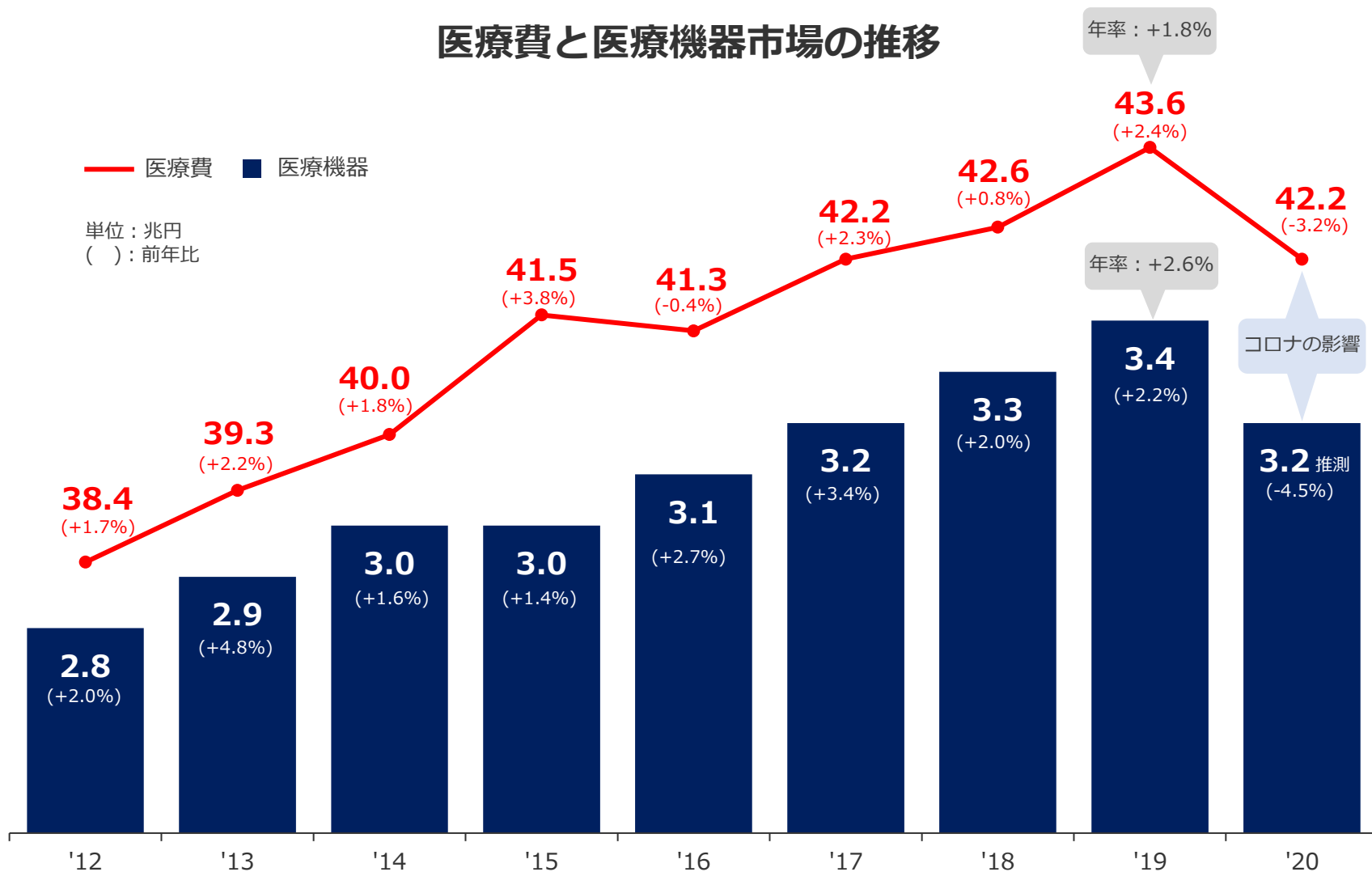
手術室等の設計施工



外部環境

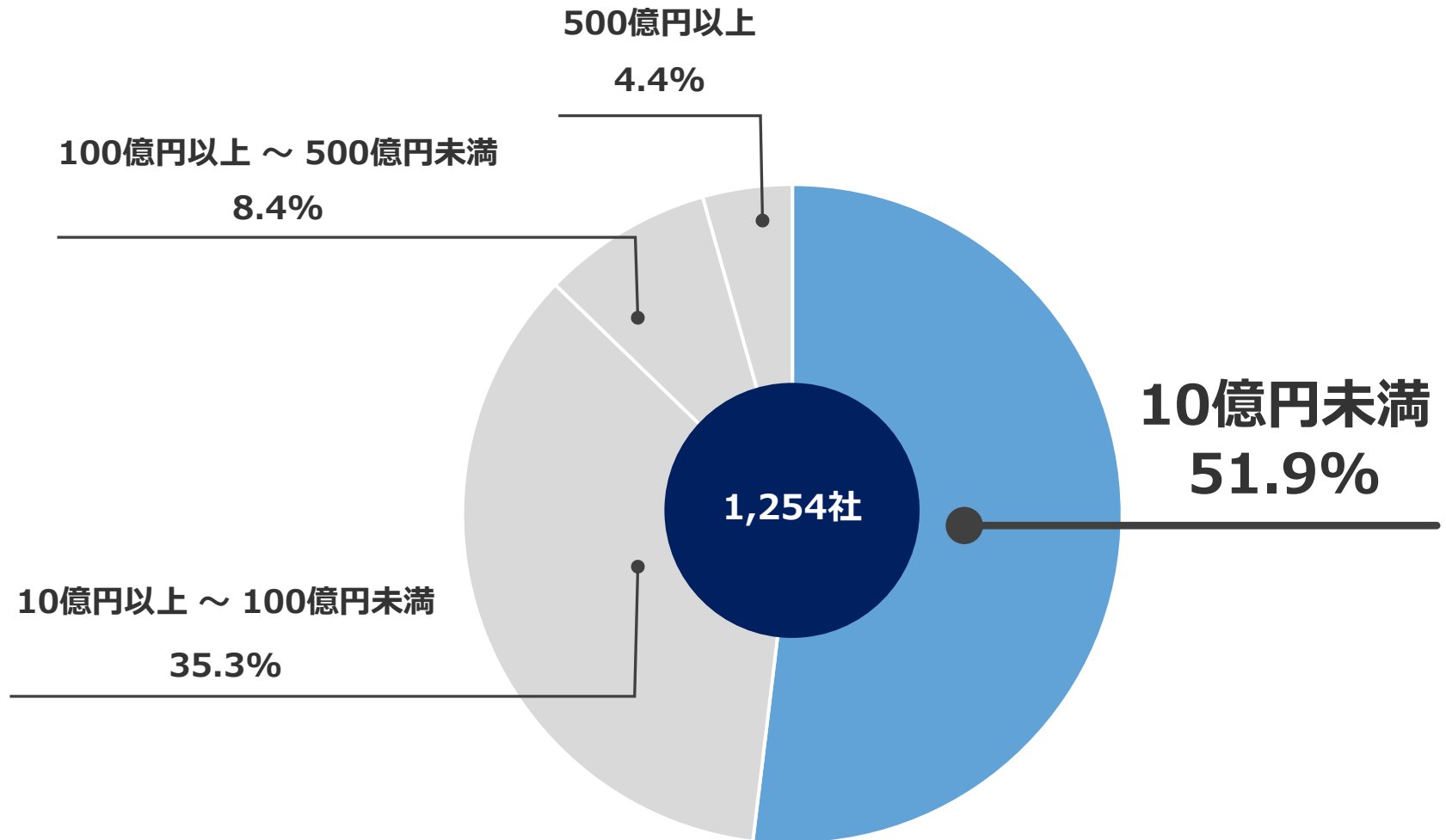
医療機器市場

医療費と医療機器市場の推移



医療機器商社の売上分布

1,000社以上が存在する、細分化された市場



成長戦略

当社の特徴

◆ 低侵襲医療機器の販売力

－高いマーケットシェア

◆ 高い利益率

－少数精鋭による効率的オペレーション

◆ 強い財務体質

－自己資本比率:53% (上場医療器卸9社の平均:38%－比較可能な2020年度ベース)

－現預金:156億円 (2022年3月期末)

今後の取組み

- ◆ 顧客の成長をサポート
- ◆ CRSへの経営資源投入
- ◆ エリア拡大
- ◆ ウィン・ハート・ゲート
- ◆ 持続的成長への取組み

顧客の成長をサポート

◆ 集患提案

– 紹介患者の増加策提案 など

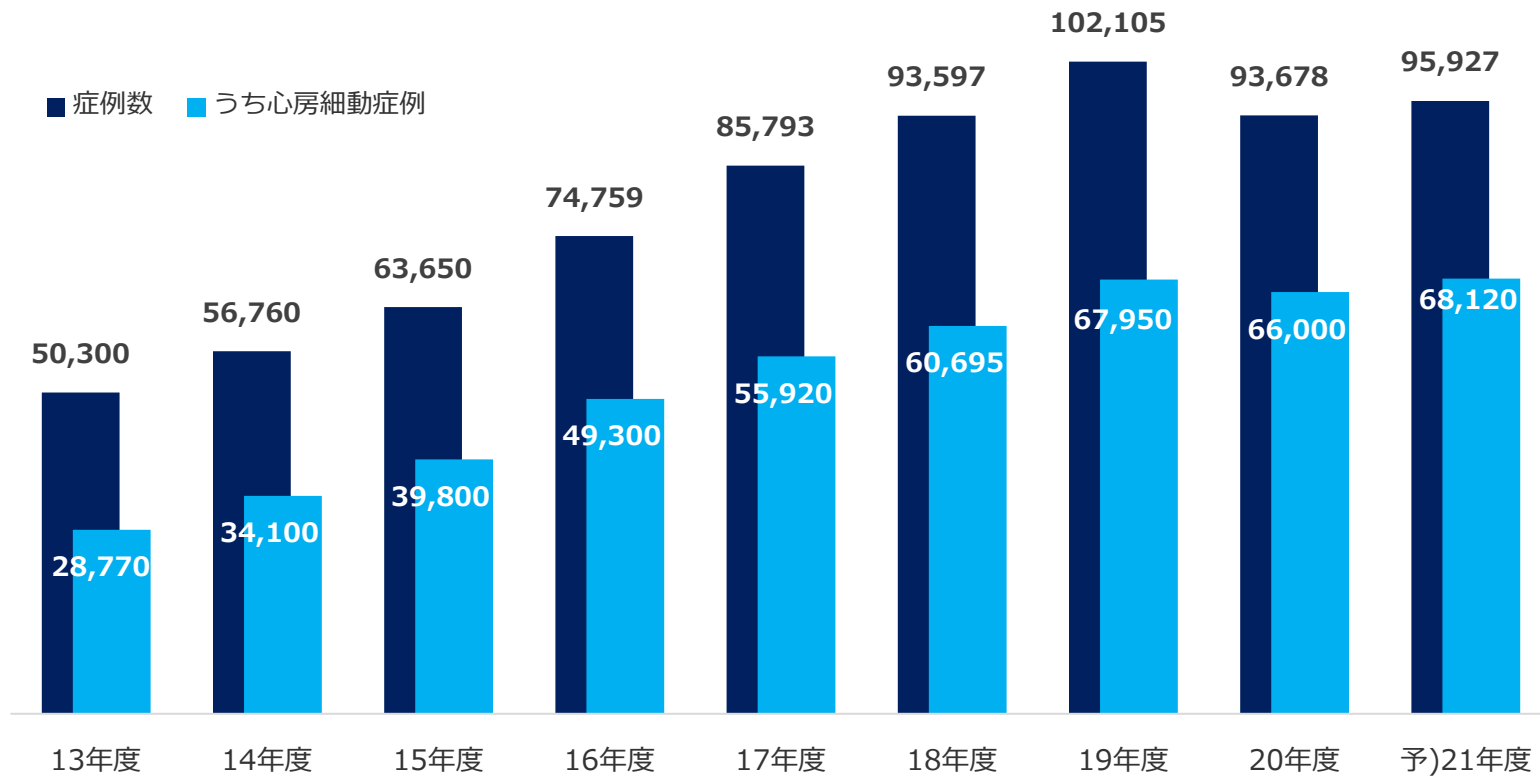
◆ 業務効率の改善提案

– オリジナルの医療材料管理システムの導入 など

◆ その他

CRSへの経営資源投入

経皮的アブレーション（うち心房細動症例）推定症例数

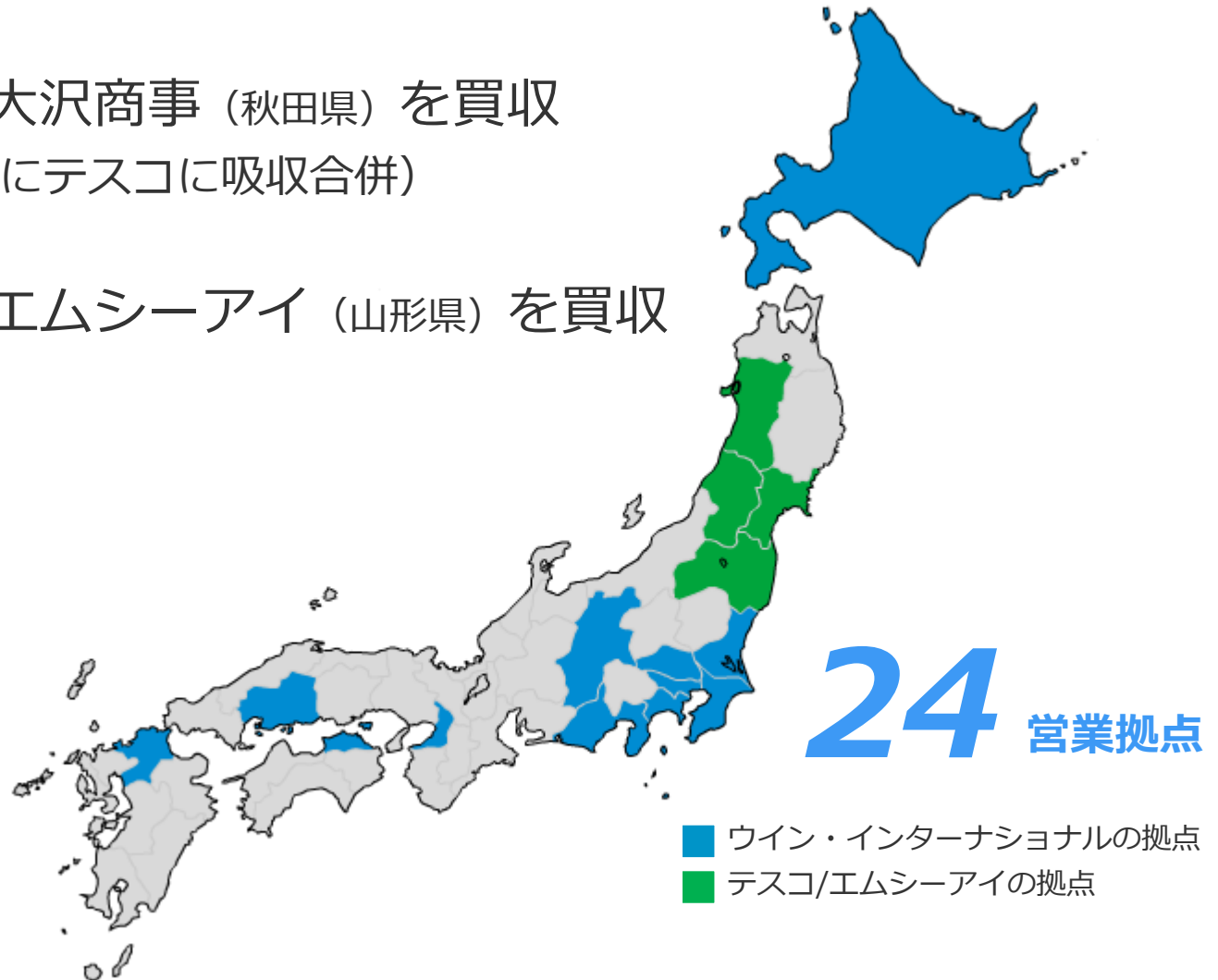


出典：矢野経済研究所「2021年版 カテーテル&チューブ、IVR製品市場の中期予測と関連製品の徹底分析」一部推定含む

エリア拡大

M&Aも積極活用

- ◆ 2017年10月大沢商事（秋田県）を買収
（2018年7月にテスコに吸収合併）
- ◆ 2018年12月エムシーアイ（山形県）を買収



ウイン・ハート・ゲート

首都圏の営業拠点をカバーし、物流業務を効率化

- ◆ **商物分離**
- ◆ **RFID（ICタグ）の活用**
- ◆ **その他**

ウイン・ハート・ゲート完成予想図



持続的成長への取組み

これまでの取組み

- ◆ 女性活躍推進チームの発足
- ◆ サステナビリティ基本方針の制定
- ◆ サステナビリティ委員会の設置
- ◆ TCFD提言への賛同表明
- ◆ TCFDコンソーシアムへの参加

業績概要

2022年3月期 業績概要

(単位：百万円)

	前期実績	当期実績	前年比(%)	期初計画	計画比(%)
売上高	62,123	66,391	+6.9	64,500	+2.9
営業利益	2,255	2,762	+22.5	2,500	+10.5
経常利益	2,265	2,765	+22.0	2,500	+10.6
当期純利益	1,540	1,831	+18.9	1,700	+7.8
1株当たり当期純利益(円)	53.66	63.88			
1株当たり純資産(円)	736.32	764.32			

2022年3月期 決算のポイント

- ◆ **医療供給体制の通常化や既存顧客深耕などで主要分野の症例数が前年比で増加し、売上が拡大**
- ◆ **症例数の増加で仕入れ交渉などが順調に推移。売上総利益率が上昇し、営業利益は前年比増益**

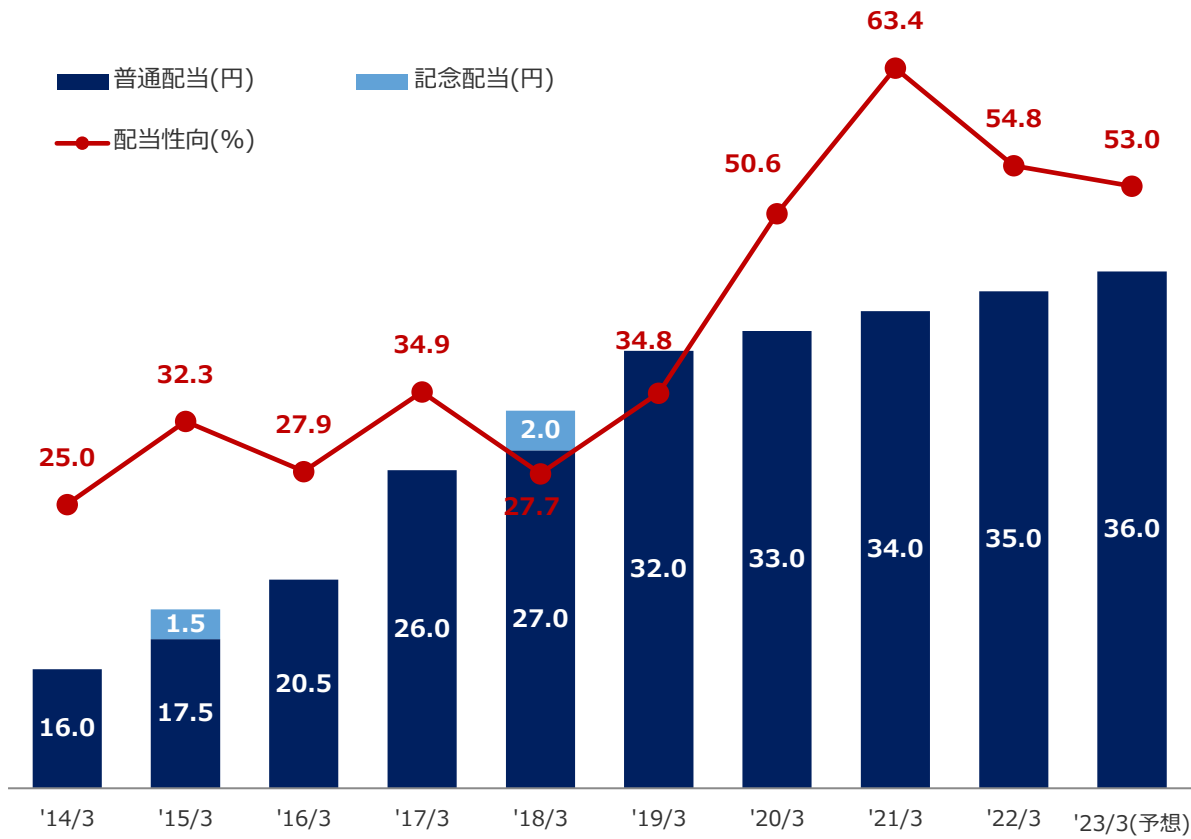
2023年3月期 通期計画

2023年3月期	金額 (百万円)	前年比 (%)	百分比 (%)
売上高	68,800	+3.6	100.0
営業利益	2,820	+2.1	4.1
経常利益	2,820	+2.0	4.1
当期純利益	1,930	+5.4	2.8
1株当たり当期純利益(円)	67.91		
1株当たり配当金(円)	36.00		

株主還元

株主還元

配当と配当性向の推移



株主優待



- 保有株式数 100株 (1単元) 以上
- 優待品の内容 クオカード 1,000円分
- 発行基準日 毎年3月末日
- 贈呈の時期 6月下旬

ご清聴ありがとうございます

ございました



WIN PARTNERS

WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2022年6月7日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先

ウイン・パートナーズ株式会社 社長室

TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791

HP : <http://www.win-partners.co.jp>